

渡部昇一著『人間らしさ』の構造」講談社学術文庫、講談社 1977年5月10日刊を読む

「女王蜂と働き蜂は、元来、蜜蜂のメスであることにおいては同じである。ところが、このメスの幼虫の一匹は、特別の巣房に入れられ、特別な餌(この場合には、ロイヤルゼリー)を与えられ成長すると、そのメス蜂だけが、他のメス蜂の2倍の身長、3倍の体重、50倍の寿命を得て、自分の体重に近い重量の卵2千個を毎日生み続けるという女王蜂になる」

P48

<コメント>

開倫塾の目指すべきは、メス蜂の潜在能力を引き伸ばして女王蜂に育てるように、全塾生の潜在能力を伸ばすことです。そのためには、メスの幼虫の1匹が入れられる「特別な巣房」に、開倫塾がなることです。

— 2018年10月11日(水)林明夫—

